



元気に戻ってきてね
大形小サケの稚魚放流活動 3月13日

3月13日、大形小学校3年生35人が、鬼怒フラワ-ライン河川敷でサケの稚魚約200匹を放流しました。稚魚は11月下旬に鬼怒小貝漁業協同組合から提供を受け、卵からふ化した稚魚を児童が育て観察。児童たちは、稚魚に「戻ってこいよ」「元気でね」などと声を掛けながら川に放し、最後に校歌を歌い稚魚が元気に戻ってくるようエールを送りました。

参加した浅子麻尋さんは「育ててきた稚魚と離れることは寂しいけど、元気に戻ってくるように心を込めて放しました」と話してくれました。



声をかけながら稚魚を放流する児童たち



下妻の顔をきれいに
砂沼をきれいにする運動 3月10日

砂沼をきれいにする方々

「下妻の顔」でもある砂沼をきれいに保つため、「砂沼をきれいにする運動」が、3月10日、砂沼周辺で行われました。

市内の各団体や企業から約500人が参加し、可燃ごみ240キログラム、不燃ごみ50キログラムのごみが回収されました。

参加した50代男性は、「毎年、参加しているが、年々ごみが少なくなってきている。これまでみんなで砂沼をきれいにしてきたからだと思う。そう思うと気持ちがいい」と話してくれました。

思い出の学びや巣立つ

市内各小・中学校で卒業式 3月13日・19日

市内の中学校3校で3月13日、卒業式が行われました。晴れやかな笑顔、友と別れる悲しみにくれる涙顔。壇上で校長先生から卒業証書を受け取った408人の卒業生たちは思い出を胸に、中学校生活に別れを告げました。

また、3月19日には市内各小学校で卒業式が行われ、進学する中学校の制服を着て式典に臨んだ426人の児童が、6年間で大きく成長した姿を披露し、恩師や下級生らと別れを惜しみながら、たくさんの思い出が詰まった学びやから巣立ちました。



一人一人に卒業証書が手渡されました(下妻中学校)



卒業生全員による別れのことば(上妻小学校)



在校生らに送り出される卒業生(上妻小学校)

オトナも子どももいっしょにあそぼ！ハッコヨ！スポコミ

北海道日本ハムファイターズ「第2回スポーツ・キャラバンin下妻市」を開催 3月23日・24日

3月23-24日の2日間、ハッコヨスポコミ2019実行委員会は「ハッコヨスポコミ」を開催。ファイターズのブランド力・発信力を活用し、魅力的な共有空間でまちを共創する仲間を増やすことを目的に外遊び(スポーツ)空間を提供し、約1,500人が来場しました。

23日は千代川中学校を中心とした部活動公開練習やダンスパフォーマンスなどが行われ、ファイターズアカデミーコーチも出場した交流試合は中学生や社会人も一緒にプレーし、接戦で来場者を楽しませました。

24日は未就学児～小学生を対象にした野球教室を開催。野球の他にも外遊び・昔遊びや健康などのブースが出展、市外から来場した近藤寛仁くん・亮仁くん(双子6歳)からは「野球教室もほかの遊びも楽しかった」との声が聞かれ、子どもからお年寄りまでたくさんの人が外遊びを楽しむ姿が見られました。



国体ダンスを披露するキッズダンスパフォーマンス者たち



来場者たちが楽しむ王様ドッジボール 外で楽しむ工作



遊びながら体の使い方学ぶ中学生



食改さんから「じゃがバター」をもらう来場者



バッティングを教わる参加者



昔遊びなどを体験



遊びながら学ぶ野球の楽しさ



ママチアダンスを披露した下妻母親クラブ

みんなでわいわい

春のWaiwaiわいまつり 3月17日

3月17日、まちづくり市民グループ「しもつま3高」はWaiwaiドームしもつまで「春のWaiwaiわいまつり」を開催しました。

2年目の開催となる会場では、市内外から集まった総勢約120人が和太鼓、フラダンスやチアダンスなど様々なパフォーマンスを披露する「WaiwaiパフォーマンスSHOW」、手作り小物や食べ物や飲み物を販売するフリーマーケット「WaiwaiMARKET」が行われ、市民など約1,500人が集まりました。

市内から家族と遊びに来た30代男性は積み木コーナーで遊ぶ息子(3歳)を夫婦で見守りながら「去年も遊びに来たが、家族連れの来場者が増えている感じがする。子どもと楽しめるのがうれしい」と話してくれました。



ランチを楽しむ来場者



家族で手作り小物を販売



積み木をする子どもたち